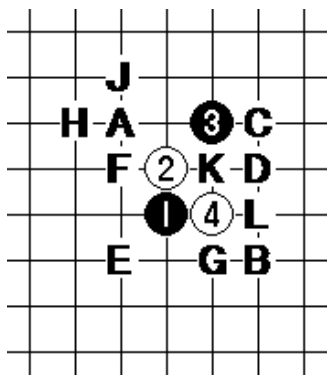


連珠っておもしろい

九段 河村典彦

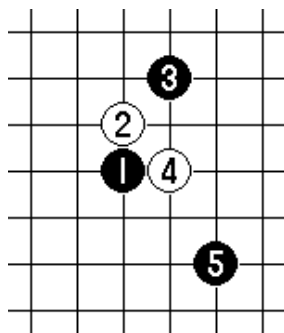
● 第72回 ●

■ 溪月多題打ちの研究②
 今回も、溪月多題打ちの研究をしていこう。この白4は連珠世界にも書いたように、実は一番よく打たれている。八題の場合、黒5としては、A、Gまでの7か所に、H、J、K、Lの中から1つを選んで8か所にする場合が多い。

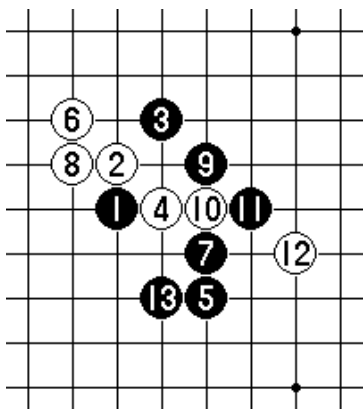


前回同様、他に打つ場所がないか調べてみよう。
 前回と同じく、黒5と流星の位置に打つのはどうだ

ろうか？

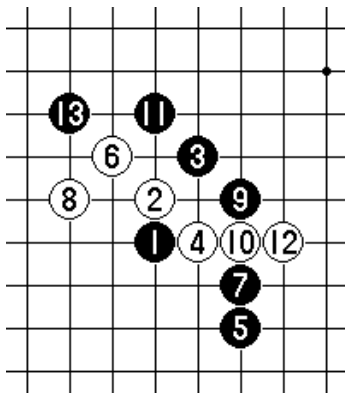


これが不思議と成立するようだ。うっかり白6、8と打とうものなら、

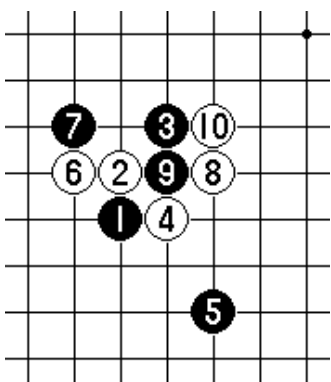


黒11、13と引かれてあつ！ということになる。したがって、白8は次のように黒を牽制しておく必要がある。これに対しては、黒も11、13と乗り込んで行く

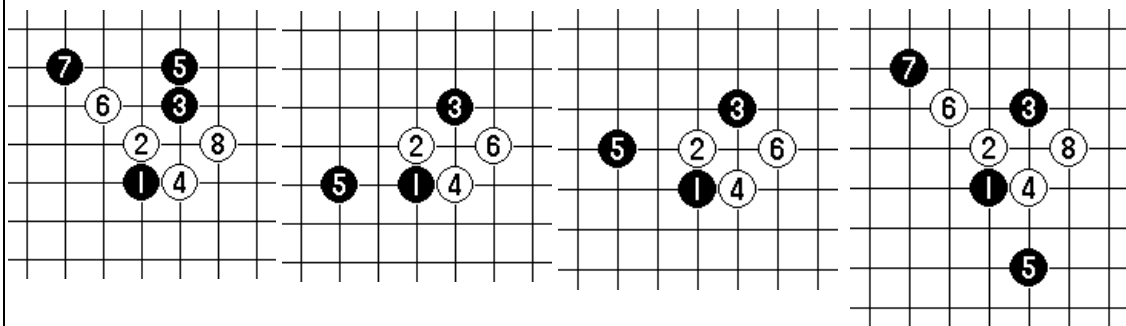
しかない。

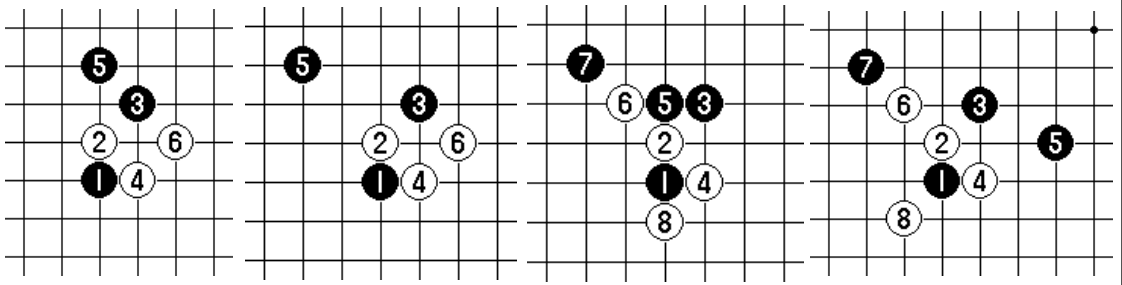


ここから先は未知の世界だが、黒も打てなくはない。

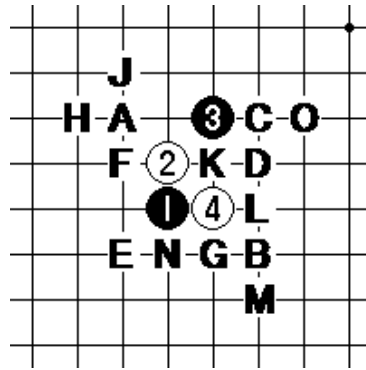


白6と打つ手も考えられる。黒7は仕方なく、以下白10までの展開を考える。黒5の位置は少々変だが、一応役立ってはいいる。では、次に打てない黒5を探ってみよう。

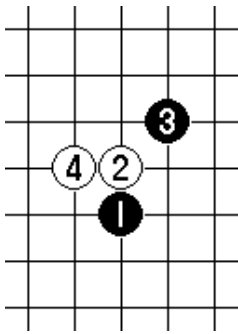




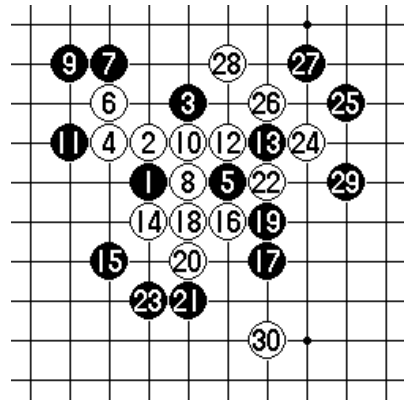
これらの黒5は白勝ちになる。ということ、結論として、黒5は合計14か所も打てるということになる。こうなると、この白4はもう怖くない！のでは？



続いて、この白4に移ろう。この4は一見怖そうだが、意外とたくさん打てる。同じ形にならないのもその理由だろう。

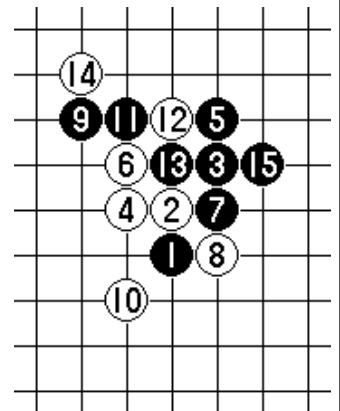


ただし、次の黒5はまずい。

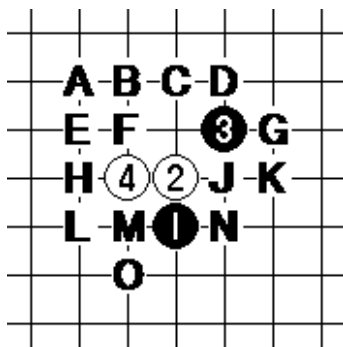


白6と固められるのがこの形では怖い。黒7が粘りのある防ぎだが、白8から引いていけば三々禁が逃れられない。黒9を反対なら、白11と引いて良い。

また、盲点になるが、次の黒5も打てそう。同様に白6と固められるのが怖い。黒7から9と止めておくのが白の牽制にもなる。対して白10と来たら、黒11と先手を取って以下追い詰めにできる。白6を7なら、白4を7の変化に戻る。



その他にも打てる所が多く、まとめると冒頭の白4と同じく14か所も打てることになる。



ただし、14か所打てるからと言っても、必ずしも黒勝ちではないのが難しい所だろう。結局は、研究した方が有利なのだ。だから研究するしかない。